



- 会長／中村文明
- 副会長／林 尚孝・高木克彦
- 幹事／小口 隆
- R 情報(会報)委員長／杉村邦彦

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-1・Tel/0266-22-6939・Fax/0266-23-6939
URL: okayarc.org・Email: okayarc@bz04.plala.or.jp
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2923 回例会 2020 年（令和 2 年）11 月 24 日(火)

点 鐘：中村文明 司 会：中嶋孝一

斉 唱：我等の生業

ラッキーNo：NO. 11 佐伯克己

ビジター：長野南RC 田中 実様

米山功労者表彰：第5回マルチプル 林 博彦・第3回マルチプル 山崎典夫
第3回マルチプル 小口 隆・第2回マルチプル 小口裕司
第2回マルチプル 中村文明

会長挨拶

本日はお客様に、信州大学工学部4年生、中国安徽省出身の米山留学生「賈伝艶（カ デンエン）」さんと、米山カウンセラーの長野南RC田中 実様をお招きしております。後ほど卓話をしていただきますのでよろしくお願いいたします。

今年の10月14日に「地域ブランド調査2020」が発表になりました。この調査は、全792市と東京23区を入れ、1000の市町村と47都道府県を対象に毎年行われています。

調査項目は84項目、認知度・魅力度・情報発信・観光意欲・住居意欲・街のイメージ・旅やグルメ・地域産品等です。

都道府県では、12年連続で①北海道・②京都・③沖縄と続き、我が長野県は8位と上位に位置してまいります。

市町村では、①京都市・②函館市・③横浜市となっています。上位都道府県市町村共、有名な観光地であるという共通点があります。

因みに県内①の市町村は全国20位の軽井沢町です。

岡谷市も「地域ブランド」の向上を目指し、私たち岡谷RC・観光協会・市のブランド推進室・商工会議所等、多くの団体が連携し「住みやすいまち岡谷」を目指し日々活動していますが、厳しい状況です。

一番でも地域ブランドが向上するように能動的に活動したいと思います。



幹事報告

- 次週12月1日はクラブフォーラムで年次総会となりますのでよろしくお願いいたします。

委員会報告

親睦委員会 12月8日は親睦忘年会です。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮して会員のみの忘年会とさせていただきます。毎年楽しみにされている御家族様の皆様には申し訳ございませんがご理解の程よろしくお願いいたします。また、恒例のチャリティー募金を、例会時受付にて集めさせていただきますのでご協力をよろしくお願いいたします。

青少年奉仕委員会 11月29日(日)は、地区補助金事業贈呈式を兼ねたロータリーデーです。ボーイスカウト、ガールスカウトの皆さんにもご参加いただきますので、参加できる方は是非よろしくお願いいたします。

社会奉仕委員会 「ダメ。ゼッタイ。」運動募金の締め切りが今月末となっておりますが、次週12月1日まで延長いたしますので、ご協力をお願いいたします。

* 米山奨学生卓話 *



卓話「どうして日本を選んだのか」

米山奨学生 賈伝艶 (カデンエン) 様

皆さん、こんにちは、カデンエンと申します。出身は中国の安徽省の無湖市です。大家族に生まれ、三番目の子です、上は二人の姉、下は一人弟います、記憶の中に、兄弟喧嘩時は2対2のチームを組んで賑やかな生活を送りました。今年日本に来て6年目です、今信州大学の四年生です。趣味は水泳、登山、植物育てです。安徽省の位置は上海の西側です。距離は大体東京から長野までの距離です。家の周りは平原と河川などが網の目のように密に分布しています。四季ははっきり分かれています。安徽省では有名な山は黄山と九華山があります九華山(きゅうかさん)は中国四大仏教名山(五台山、九華山、普陀山、峨眉山)の一つです。宏村(こうそん)は明清時代の歴史建築が数多く残る村落で、2000年に世界遺産に登録されました。安徽省の徽墨(きぼく)には千年以上の歴史があります。墨の香りがとても良く、墨色も極めて鮮やかで、何十年が経っても変化しません。宣紙(がせんし)は産地の安徽省宣城にちなんで名づけられました。紙質は白く、丈夫で弾力に富みます。また、虫食いが少なく、変質しにくいことから、「紙の王様」と呼ばれています。

私は日本に留学のきっかけは上司の一言葉です。「もしあなたは日本に行くなら、どこに行きたい?」、私は少し考えて、「東京、大阪、沖縄」と答えました。「なんで?」って聞かれたときに、私はどうこたえるか分かりませんでした。隣の同僚は「多分かさんが日本は東京、大阪と沖縄以外の場所は分からないです」といいました。このきっかけで私は自分に「本当に今の生活を続けていっていいのか、これからどんな人になりたい、どう生きたい。」と質問しました。その時は、自分の視野が狭いことを気づきました。中国で大学に行ったことがないので、ずっとそのことについて心残りだと思っていました。2014年時、手元に少し貯金がある時に、留学のスケジ

ルールを立て始めました。日本で留学生はアルバイトもできるので、自分の能力で勉強と生活を両立できる国です。しかも、日本の水処理技術のレベルはとても高いことを知ったので、それで、日本に留学して水の技術を勉強しようと決めました。日本は安全な国なので、安心して日本に來ました。勉強が目的だけではなく、世界はこんなに広いので、この目で見てみたいと思いました。

今大学の研究内容は、低圧で効率的に廃液から有機溶媒を回収できる膜を作製します。透過性性能を上げるために膜を作る時に主剤に孔形成剤を加えます。できた膜は電子顕微鏡で断面と表面の構造を観察します。その後は工場で使っているインクを用いて濾過試験を行います。膜の分離性能と透過性能を確認します。

日本に留学して本当に良かったと思っています。知らない場所に行って、普段見られない景色を見て、普段話さない人と話します。様々な価値観にぶつかり視野も広がって、考え方も変わります。本気で好きなこと・楽しいこと、やりたいことを見つけて、友人や大学のサークルの人、家族と身近にいる人と一緒にいる時間を大切に、社会人になってから会える時間が少なくなってしまうかもしれません。今を大事に生きていこうと思います。自分は運がついている人と思っています。今までいろんな人に助けられて、生活は順調に進んできました。出会った人に優しく扱っていただいた私は、この優しさも他人に伝えていきたいです。

これから大学院に行くつもりです。膜分離技術をしっかり身に着きたいです。将来は日本と関係のある会社に就職したいです。日本の技術を中国の環境改善に生かしていきたいです。日本の60, 70年代時に、今の中国と同じ水問題があったが、改善して今の水はとてもきれいになりました。自分の国を日本のように水道水を直接飲めるようにしたいです。将来は自分の専門知識だけではなく、語学力と日本での生活経験も生かしたいです。日本では膜分離技術は結構発達しているが、世界でのシェア率は低いです。自分の能力を発揮して日本と中国の膜技術に架け橋をかけたいです。レベルの高い技術が中国に広がると思います。

ご清聴ありがとうございました。



ニコニコボックス

長野南RC 田中実様 米山奨学生カデンエンさんと共に出席させていただきます。
牛山幸一・江黒寛文・太田博久・大滝祐吉・大橋正明・小口国之・小口 隆・小口泰史・小口裕司・尾関秀雄・片桐伸介・上條英雄・小林大介・小宮山英利・佐伯克己・薩摩 建・佐藤有司・瀬戸雅三・中嶋孝一・中村文明・濱 毅・濱 俊弘・林広一郎・林 裕彦・平沢清文・宮坂晃介・宮坂 伸・宮澤由己・矢島 実・山岡俊幸・山岸邦太郎・山崎典夫 米山奨学生カデンエン様、米山カウンセラーの長野南RC 田中 実様、ようこそお越しくださいました。本日の卓話を楽しみにしています。

出席報告

会員数48名、出席者33名、
出席率68.75%

2020-2021 年度RIテーマ
ロータリーは機会の扉を開く
Rotary Opens Opportunities

